

令和2年度 硬式テニス部

～仲間の1勝はみんなの1勝～



《年間結果報告》

高校総体 中止
高校選手権 団体戦 中止
新人戦 女子団体 3位



【部員】

男子

- <114期生> 権藤優真(厚生) 濱口幹太(五十鈴) 長谷川滉哉(豊浜)
桑島真尋、池田聖也(加茂) 水谷光来、松本空也(浜島)
- <115期生> 奥野宏翔、山本悠人(倉田山) 小瀬古雄貴、和田響(浜島)
世古口玲麻、村田雄飛(明和) 竹内八雲(志摩) 中川裕喜(五十鈴)
中世古翔(度会) 西出幸生(多気)
- <116期生> 細川出穂(宮川)、福島翔龍(倉田山)、新井佑音、林 陸斗(二見)
西 琉雅(港)、畑 雅斗(伊勢宮川)、中西優陽(度会)、西岡伯空(志摩)

女子

- <114期生> 奥田 葉(倉田山) 奥野こはる(厚生) 北岡愛梨(二見) 西山藍華(玉城)
小林素子(鳥羽東) 中村梨乃(文岡)
- <115期生> 井村春翔(加茂) 野村聖来(志摩) 田中優衣、中村心咲(二見) 増川友梨(厚生)
井村杏奈、山口裕喜(城田) 玉木音々(磯部) 中村淑乃(伊勢宮川)
柴山ひなた(鳥羽東) 橋爪優(文岡)
- <116期生> 玉木菜桜(磯部)、飯尾百香(東部)、野瀬 花(厚生)、山本夏凜(玉木)
浜崎光梨(加茂)、山本真穂(南郊)、阿部真衣佳(小俣：マネージャー)

～活動実績～

《 男子 》

○ 高校総体

新型コロナウイルス感染症の蔓延により大会中止

○ 高校選手権

- ・男子団体戦

新型コロナウイルス感染症の蔓延により大会中止

- ・男子シングルス（1，2年生の部）

ベスト64 小瀬古雄貴、中世古翔、細川出穂

○ 新人戦

- ・男子団体戦 ベスト32（シングルス3本、ダブルス2本での対戦）

1回戦 対 桑名高校 3-2勝利

2回戦 対 海星高校 1-4敗退

- ・男子シングルス

ベスト32 中世古翔、細川出穂

- ・男子ダブルス

ベスト32 村田・細川 組

《 女子 》

○ 高校総体

新型コロナウイルス感染症の蔓延により大会中止

○ 高校選手権

- ・女子団体戦

新型コロナウイルス感染症の蔓延により大会中止

- ・女子シングルス

ベスト32 中村淑乃、増川友梨、山本夏凜、飯尾百香、山本真穂、

ベスト64 野村聖来、山口裕喜、玉木音々

○ 新人戦

- ・女子団体戦 **3位**（シングルス3本、ダブルス2本での対戦）

2回戦 対 上野高校 5-0勝利

準々決勝 対 鈴鹿高校 不戦勝利

準決勝 対 四日市商業高校 0-5敗退

3位決定戦 対 四日市高校 3-0勝利（D2・S3 打ち切り）

2位決定戦 対 津商業 1-4敗退

- ・女子シングルス

ベスト16 中村淑乃

ベスト32 野村聖来、飯尾百香、山本夏凜、山本真穂

ベスト62 増川友梨、山口裕喜、玉木音々

- ・女子ダブルス

ベスト8 中村淑・野村 組

ベスト16 飯尾・山本真 組、橋爪・山口 組

ベスト32 増川・山本夏 組

～各大会・思い出のヒトコマ

～114期生 最後の新人戦～



～部結成～



※ コロナ感染症により部結成が6月になってしまいました

～高校選手権～

コロナ禍で写真が……

~新人戦~



~京都滋賀遠征~



～思い出あれこれ～



令和元年 山商：テニス部 8・9月予定表

日	練習予定 (選手)	練習予定 (顧問)	学校行事
7/20(水)	自主練習	自主練習 (備前高校)	
7/24(日)	練習試合 (宇治川 和歌山)	休息	修学旅行
7/25(月)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
7/26(火)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
7/27(水)	自主練習	自主練習	
7/28(木)	自主練習	自主練習	
7/29(金)	自主練習	自主練習	
7/30(土)	自主練習	自主練習	
7/31(日)	自主練習	自主練習	
8/1(月)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/2(火)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/3(水)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/4(木)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/5(金)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/6(土)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/7(日)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/8(月)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/9(火)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/10(水)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/11(木)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/12(金)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/13(土)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/14(日)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/15(月)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/16(火)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/17(水)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/18(木)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/19(金)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/20(土)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/21(日)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/22(月)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/23(火)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/24(水)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/25(木)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/26(金)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/27(土)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/28(日)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/29(月)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/30(火)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
8/31(水)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
9/1(木)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
9/2(金)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
9/3(土)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
9/4(日)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
9/5(月)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
9/6(火)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
9/7(水)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
9/8(木)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
9/9(金)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
9/10(土)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
9/11(日)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
9/12(月)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
9/13(火)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
9/14(水)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
9/15(木)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
9/16(金)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
9/17(土)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
9/18(日)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	
9/19(月)	練習試合 (宇治川 和歌山)	練習試合 (和歌山 宇治川)	



～卒業式・3送会～



【概要】

先輩達から受け継いだ、戦う姿勢、元気いっぱいのプレー、目の前の一球を諦めない姿。それをいちばん発揮してくれると確信していた3年生の高校総体が、コロナウイルス感染症のまん延により奪われた。長年顧問をやらせてもらっているが、こんなどこにもぶつけようのない、張り裂けそうな思いを感じたことはなかった。先輩達の頼もしさを、ずっと見せつけられていたこの3年生は、誰よりも団体戦を楽しみにしていた。後輩達の中で、極限状態の中で、自分を信じ、仲間を信じ戦う団体戦を楽しみにしていた。彼ら、彼女らが悔やんだのは、自分たちが試合できないことよりも、先輩達の姿をみて感じた思いを、後輩達に残していくことができなかったことだと思いを語ってくれた。

コロナ感染症の影響で、新入生の部結成を行なったのは6月だった。男子8人、女子6人の新入生を迎えた。自分たちの夏の高校選手権の団体戦の中止が決まったとき、3年生全員が引退を決めた。しかし、3年生は自分

達の試合は残されていない中、1年生への指導や、2年生の練習相手にコートに立ってくれた。そんな3年生の思いを感じ取ることができない、熱い団体戦を目の当たりにしていない1、2年生はチンタラとした練習を繰り返した。いかに団体戦をチーム一丸で戦うという経験が、チーム力を高めていたかを感じさせられた。そんな中、後輩に3年生松本が「そんなにチンタラ練習するんやったら、俺に試合に出させてくれ」と言い放った。松本にとっては出たくても出れなかった最後の大会。2年生にその言葉は突き刺さった。その言葉で、山商テニス部はまた走り出すことができたような気がする。

ようやく開催された新人戦の団体戦。2年生が3年生の果たせなかった思いの分までと臨んだ団体戦。しかし、団体戦会場に参加できるのはエントリー選手のみ。部員全員は会場にも入れなかった。応援歌など声を出しての応援も封印での大会にどこか物足りなさを感じた。しかし、男子は2回戦で強豪海星に善戦することができた。敗れはしたものの初心者軍団の2年生の成長や、ポテンシャルの高い1年生の可能性を感じ取れた大会となった。

女子は、この大会で2位以内に入り、コロナが取るのを信じ、「3月の全国センバツ大会に出場し、部員、保護者、3年生の先輩みんなで思いっきり団体戦を楽しんでやる」を合い言葉にこの大会に臨んだ。厳しい試合も諦めない姿勢で勝ち上がり、勝てば東海新人の出場権が得られる津商との2位決定戦。しかし、やはり一人ひとりの実力では全く歯が立たず、これまでの団体戦のような仲間の声援で発揮された戦う姿勢も陰を潜め敗退した。3位という結果にも誰一人満足することなく大会を終えた。3年生への感謝を形にできななかった事がいちばんの悔しさだった。

その後は春でのリベンジを誓い、男女とも練習に明け暮れた。そんなみんなを後押ししてくれるように、マネージャーとして阿部チャンが途中入部してくれた。様々な面で新しい風がテニス部をつつみ、日々充実した練習を行っていた。そんな中、まだまだ繰り返す、コロナ感染症の猛威にいくつかの大会や、遠征、練習試合も中止を余儀なくされた。大変な状況の中、3年生は進路をしっかりと決め卒業していった。後悔がないわけではないが、このテニス部で過ごせた日々はかけがえのない時間だったことを後輩に語り卒業していった。この誰もが経験していない日々の中で、気持ちを整理するのは高校3年生には難しいことだったと思う。しかし、何があるうとも立ち止まって考え、後戻りせず、前向きに歩き出した君たちの姿に支えられた日々だったと思う。後輩達は、君たちが言葉をかけ続けてくれたおかげで、山商テニス部らしさをちゃんと継承してくれている。令和3年度の後輩達の「戦う姿勢、元気いっぱいのプレー、目の前の一球を諦めない姿」を楽しみにして下さい。見ることができませんでしたが、葉の必死なプレー、素子の絶対に負けるものかという表情、こはるの元気いっぱいの声、ポレーにスマッシュに躍動する藍花、愛梨、梨乃。忘れてないよ、個性豊かなメンズ達。おまえ達らしい団体戦の姿も、容易に想像できます。それは、聖来、奥野達の脳裏でも想像できると思います。

本当にお疲れ様。コロナが集束に向かったら、やってあげられなかったバーベキュー忘れてませんからね！

～中学生の皆さんへ～



仲間の1勝はみんなの1勝

個人競技に思われるテニスですが、一人一人がバラバラでは、個人の勝利も団体戦の勝利も勝ち取ることができません。部員みんなに対する思いやり、支えてくださる家族に対する感謝の気持ちをテニス部での活動を通じて育ててほしいと思います。

嫌々テニスを練習していても上達しません。テニスコートに行くことが楽しみで、みんなと練習している時間が毎日の中で一番充実した時間になるよう顧問・先輩たちは頑張っています。

山商テニス部と一緒に青春しましょう！

(設備)

山商のテニスコートはなんと6面もあります。ですから入部当初からボールを使っての練習に参加できます。県下でも珍しいハードコートが2面、クレーコートが4面あります。さらには、全コート照明も完備されています。日照時間が短くなる秋、冬にかけてもテニスコートを使って練習ができます。

(活動内容)

練習時間 平日 15:50～18:25

休日 8:30～12:30

※ 休日には練習試合・大会が入ることが多いです。

※ 週に1度は休息日を設けてあります。